

一般社団法人

# 日本保健医療社会福祉学会

第35回大会プログラム

大会テーマ

溝に橋を架けるナラティブ

～ソーシャルワークにおける対話の可能性を探る～

日時 : 2025年9月27日(土)～9月28日(日)

会場 : 日本医療大学 真栄キャンパス

同時 オンライン配信

## 大会日程

1日目 9月27日(土)

13:00~13:15 開会式

開会挨拶 熊谷 忠和 大会長/ (一社) 日本保健医療社会福祉学会 会長

来賓挨拶 不動 宏平 (一社) 北海道医療ソーシャルワーカー協会 副会長

13:15~16:15 自由研究発表 ※「オンライン発表」表記以外は、会場発表(予定)。

●第一分科会 座長：宮崎 清恵 (神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 名誉教授)

1. テキストマイニングによる小児がん患児が復学時に抱える思いの検討  
上山美津穂 (京都大学医学部附属病院)
2. 医療的ケア児の受け入れに関する保育施設の現状と課題  
立花 直樹 (関西学院短期大学)
3. 医療的ケアを要する重度障害者と行政との対話をめぐる MSW 実践  
～地域生活を支える障害福祉サービス支給決定の手引書改定過程に焦点をあてて～  
高波千代子 (医療法人稲生会)  
巻 康弘 (北海道医療大学)
4. 医療ソーシャルワーカーのソーシャルワーク実践に影響を与える組織的要因の研究  
～病院組織とソーシャルワーク専門職性に焦点を当てて～  
鹿山 誉史 (長崎純心大学大学院 人間文化研究科福祉文化専攻博士前期課程)  
オンライン発表
5. ソーシャルワークとメンタライゼーション  
小山愛加 (同志社大学社会学研究科社会福祉学専攻博士前期課程)
6. 医療ソーシャルワーカーによるアルコール依存症患者の支援プロセスの可視化  
～統合 TEM 図分析から～  
野村 裕美 (同志社大学)  
浅野正友輝 (トヨタ記念病院)  
南本 宜子 (京都済生会病院)  
稗田 里香 (東京通信大学)

●第二分科会 座長：榊原 次郎 (名寄市立大学 保健福祉学部 准教授)

1. 診療所ソーシャルワーカーによる予防的支援実践評価尺度の開発と支援促進要因の検討  
榊原 次郎 (名寄市立大学)
2. 日本におけるソーシャルワーク実践評価およびその研究課題  
丸山 正三 (日本医療大学)

3. 医療ソーシャルワーカーが陰性感情を有しながらもクライアント支援を続けるプロセス  
渡邊 早智
4. ソーシャルワーク実践において発生するジレンマの特徴とその対策について  
村尾 直也 (独立行政法人国立病院機構 南九州病院) オンライン発表
5. スーパーバイザー養成を目的とした職場内グループスーパービジョンの試み  
ースーパーバイザーとしてのアイデンティティを確立し、職場内スーパービジョン体制の構築を目指してー  
恒吉麻実子 (支援者支援 Lab. )  
保正 友子 (日本福祉大学)
6. 労災保険制度の申請手続きにおけるソーシャルサポートの有用性  
ー石綿健康被害者に対するアンケート調査を通してー  
福神 大樹 (兵庫医科大学)

<p><b>●第三分科会 座長：笹岡 眞弓 (日本医療大学 総合福祉学部 教授)</b></p>
--

1. ソーシャルワークにおいて体験をともにすることの意義についてのー考察  
山本 啓太 (国立健康危機管理研究機構 国立国府台医療センター)
2. 災害支援を巡る支援者の語りー日本とイタリアの比較をもとにー  
岡田多恵子 (全国社会福祉協議会)
3. 令和6年能登半島地震で被災した患者・家族の生活問題と課題  
ー仮設住宅入居後の半構造化インタビューによる SCAT 分析ー  
島野麻里子 (医療法人社団浅ノ川 心臓血管センター金沢循環器病院)
4. 医療・介護の連携推進を目指した多職種協働演劇活動の取組み  
ー「医療介護福祉の地域連携尺度」調査を試みてー  
木村 和弘 (NPO 法人エナガの会) オンライン発表
5. 抑圧された環境下におかれた高次脳機能障害のクライアントに対する自己決定支援  
玉川 侑那 (北海道大学病院)
6. 生活保護受給世帯の子どもに対する健康支援に関するケースワーク実態の分析  
ー健康支援の要否判断に影響する要因と連携困難の実態に着目してー  
小出 直 (新潟医療福祉大学)
7. ソーシャルワーカーによる救急搬送患者への介入方法に関する後方視的検討  
ー効果的・効率的な早期介入を目指してー  
萬谷 和広 (国立病院機構 大阪南医療センター)

16:25~17:05 総会

17:30~19:30 情報交換会 ※別途参加申込みが必要です。

## 2日目 9月28日(日)

### 10:00~11:30 基調講演

『対話を通じた組織におけるケアを考える』

講師 宇田川元一 (埼玉大学大学院人文社会科学部 教授)  
座長 熊谷 忠和 (日本医療大学 総合福祉学部 教授)

### 11:30~12:30 休憩

※会場近くには飲食店やコンビニエンスストアがありません。

あらかじめご用意ください。事前の弁当申込みはホームページをご覧ください。

### 12:30~14:30 シンポジウム

『溝に橋を架けるソーシャルワークにおける対話の可能性を探る』

座長 巻 康弘 (北海道医療大学 看護福祉学部 准教授)  
シンポジスト

向谷地生良 (北海道医療大学 看護福祉学部 教授/浦河べてるの家)

「自分自身で、共に

ーソーシャルワークにおける対話実践としての当事者研究の可能性」

関 建久 (北見市医療・介護連携支援センター：ソーシャルワーカー)

「地域ケア個別会議を通じた専門性の越境と対話」

不動 宏平 (真栄病院：ソーシャルワーカー)

「身寄りがない人を受け入れられない組織の壁を乗り越えた今」

大瀧 敦子 (明治学院大学 社会学部 教授)

「MSW のナラティブから考える退院支援

ーマクロ、メゾ、ミクロレベルでの思量」

### 14:40~16:40 事例部会

『クライアントが亡くなった今、心で心を思う

～パーソナリティ障害をもつAさんとソーシャルワーカーの事例を通して～』

座長 野村 裕美 (同志社大学 社会学部 教授)

事例提供者 三浦 由佳 (札幌なかまの杜クリニック：ソーシャルワーカー)

コメンテーター (抄録コメント)

岸 信之 (合同会社 Work：精神科医)

伊佐 将人 (合同会社 Work：精神科医)

### 16:40 閉会挨拶

野村 裕美 / (一社) 日本保健医療社会福祉学会副会長